

自然災害伝承碑のウェブ地図公開

-先人が伝える災害の教訓-



国土地理院 応用地理部

環境地理情報企画官 諏訪部 順



本日の内容



- 自然災害伝承碑の地図公開のきっかけ
- ハザードマップの補完活用イメージ
- 現在の公開状況
- 地理院地図の表示イメージ
- これからの活用イメージ

- 広島県 坂町 小屋浦地区では、1907年（明治40年）に土砂災害があり、甚大な被害が発生した旨の石碑が設置されている



写真提供：大阪府警察



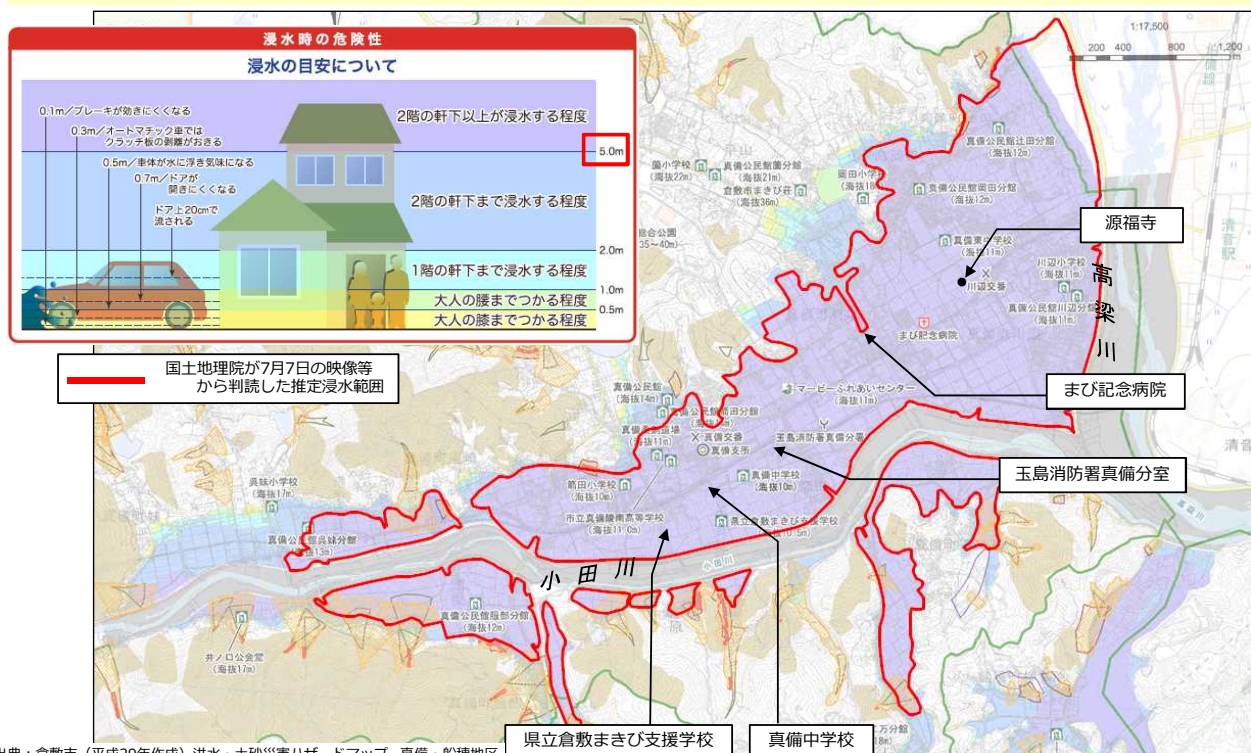
水害碑
(広島県坂町小屋浦地区)

＜避難勧告が出されて2時間後までの避難率＞
坂町全体：3.9% 小屋浦地区：1.9%

出典：中国新聞（2018年11月14日）

岡山県真備地区のハザードマップと浸水実績

- 倉敷市（平成29年作成）の洪水・土砂災害ハザードマップと7月豪雨による浸水実績はほぼ一致
- ハザードマップでは、浸水深が5mのところ（2階でも安全でない）に消防署でも浸水と示されていた



出典：倉敷市（平成29年作成）洪水・土砂災害ハザードマップ 真備・船穂地区

岡山県倉敷市真備地区の事例－2018.7 西日本豪雨

○岡山県真備町でも、1893年（明治26年）の供養塔が源福寺に設置されていた。



岡山県倉敷市真備町 源福寺
写真提供：中国地方整備局岡山河川事務所



供養塔 - 源福寺境内（岡山県倉敷市真備町）
写真提供：中国地方整備局岡山河川事務所

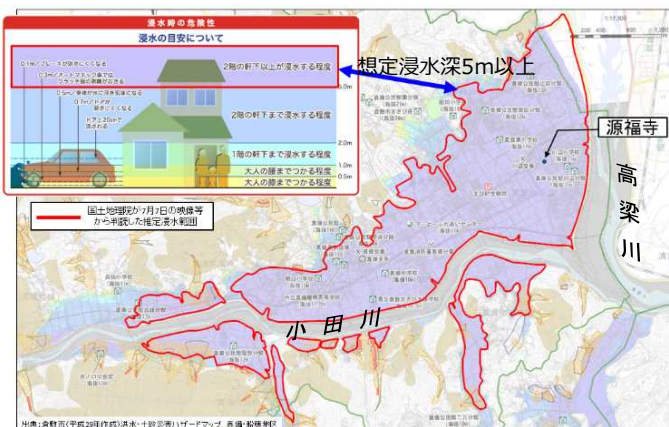
○明治26年（1893年）に起きた水害で、真備町は200人以上が犠牲。

4

<活用イメージ> 土地の成り立ちや災害履歴で
ハザードマップをサポート

- 倉敷市（平成29年作成）の洪水・土砂災害ハザードマップと7月豪雨による浸水実績はほぼ一致
- ハザードマップでは、浸水深が5m以上（2階でも安全でない）と示されていた

- 土地の成り立ちと、先人が伝えてくれた災害履歴を組み合わせ地理院地図で提供
→災害を現実としてイメージ可能に



倉敷市ハザードマップ（平成29年作成）
平成30年西日本豪雨の浸水範囲を赤で追記



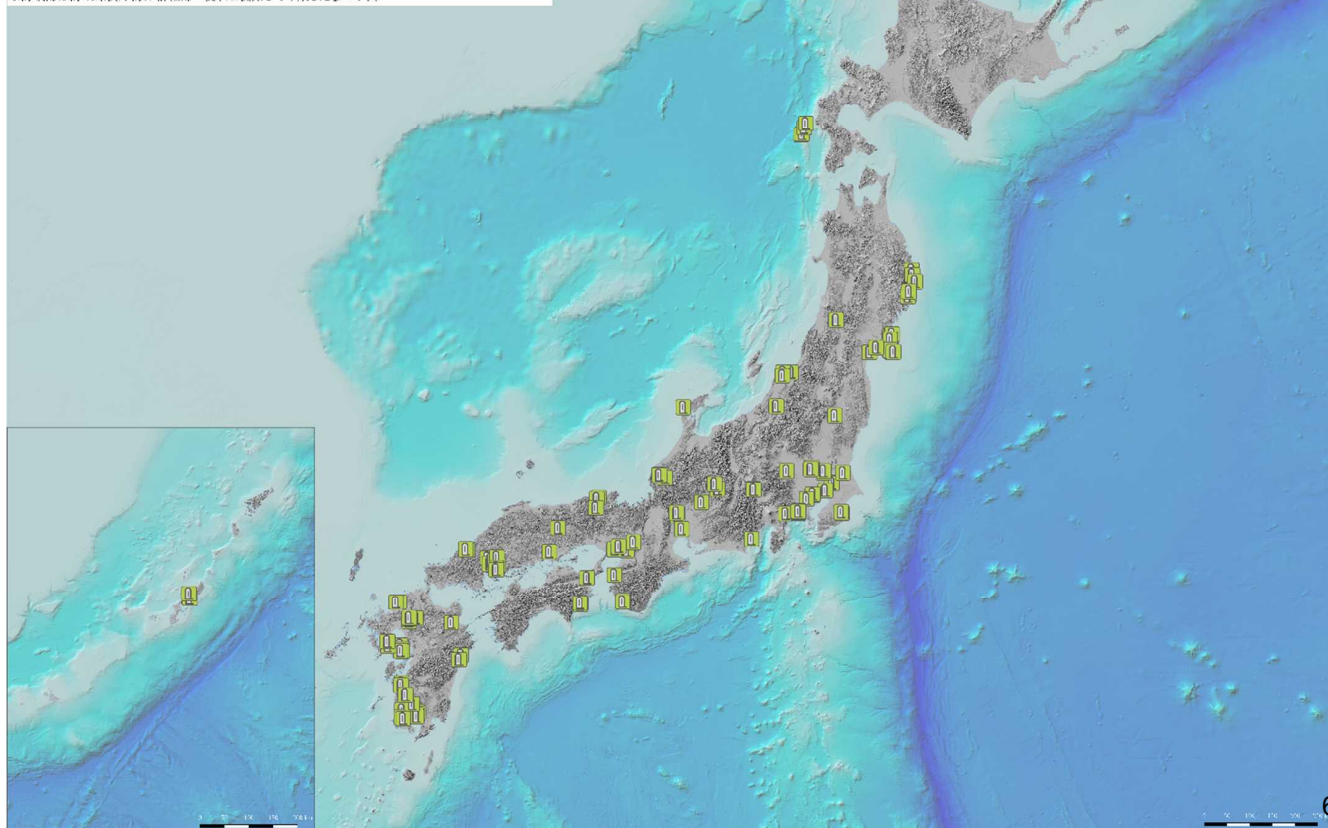
地形特性情報と災害履歴情報を
「地理院地図」上で重ね合わせ

5

自然災害伝承碑



※自然災害伝承碑とは、重大に起きた自然災害の記憶や被害の惨状を伝える石碑やモニュメントです。
※表示している情報は、平成27年7月12日時点で収集できた情報です。
※南緯部は海上保安庁衛星測位部の資料を使用して作成したものです。



地理院地図における「自然災害伝承碑」の

表示イメージ



国土地理院では、**本年6月19日から「地理院地図」において、全国各地に建立されている自然災害伝承碑に関する情報（位置や伝承内容など）の公開を開始しています。**

情報リスト

Q 例：写真/標高/災害

☐ OFF 表示範囲に絞込み

トップ

- ベースマップ
- 空中写真・衛星画像
- 起伏を示した地図
- 土地の特徴を示した地図
- 地図の更新情報や提供地域等
- 基準点・測地観測
- 地震、台風・豪雨等、火山
- 指定緊急避難場所
- 自然災害伝承碑**
- 南緯の地 関係情報
- 地理
- 他機関の情報
- ベクトルタイル提供実験

新たに追加

さらに**写真**をクリックすると伝承内容や拡大写真が表示

アイコンをクリックすると碑名や災害名が表示

水害碑

災害名：洪水・土石流
(1907年7月15日)

詳細説明は画像をクリック

概要	
碑名	水害碑
災害名	洪水・土石流 (1907年7月15日)
災害種別	洪水・土砂災害
建立年	1910
所在地	広島県安芸郡阿保町小園満向丁目
伝承内容	明治40年(1907)7月15日、数日連続の大雨により天竜川や根津川で土石流が発生した。この被害の大災害により、小園満地区では43戸の家屋がつぶれ、44名の命が奪われた。
ID	34309-002

※自然災害伝承碑を示すアイコン

学校における 学習教材



身近な災害履歴を学ぶための
学習教材として、小中学校で
活用いただく。

地理教育や防災教育
への貢献

地域探訪の 目標物



歩こう会などの探訪コースを
設定する際の目標物とすること
で、参加者が地域を歩きなが
ら自然と過去の災害情報に
触れる機会を創出する。

防災に対する関心を
高めるきっかけ

防災地図の素材



自然災害伝承碑の情報などを
素材とした防災地図を、児童
生徒が現地調査を交えながら
作成する。

児童生徒やそのまわりの
大人の防災意識向上

地理教育支援検討部会報告の資料をもとに作成